

光明学園駅伝部、滝ヶ原駐屯地で『ジョイトレ（体験入隊）』



連隊長による部隊の概要説明



基本教練体験



銃剣道体験



96式装輪装甲車体験搭乗



日夕点呼

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 栗野晃光3等陸佐）は、8月19日（火）から20日（水）にかけて、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地において、光明学園相模原高等学校（相模原市）の駅伝部1・2年生16名を対象に、部活動応援企画『ジョイトレ（体験入隊）』を実施した。

この企画は令和3年に始まり、今回で5回目となる。例年同様、富士登山駅伝競走大会を9連覇した滝ヶ原駐屯地持続走練成隊との合同練習に加え、駐屯地での1泊2日の生活体験が行われた。

初日の19日は、駐屯地紹介、基本教練、銃剣道の訓練体験、高機動車や96式装輪装甲車（WAPC）の体験搭乗などを実施。部隊概要の説明では、普通科教導連隊長が鉄帽や戦闘ゴーグル、防弾チョッキなどを装着した『フル装備の戦闘員』として登場し、その精悍な姿に生徒達は目を奪われていた。また、就寝前の点呼では、昼間に学んだ基本教練を実践し、隊員に成長した姿を披露していた。

2日目の20日は、学生と練成隊を3グループに分け、駐屯地から富士登山ルート御殿場口5合目までの約10kmを駆け上がった。学生たちは、コースの特徴でもある激坂に苦悶の表情を浮かべながらも、隊員の激励を受けて最後まで走り切った。練習後は駐屯地に戻って昼食をとり、隊員浴場で汗を流して活動を締めくくった。

参加した学生からは、「練習はきつかったが、隊員に走るコツを教えてもらえてうれしかった」「生活体験を通じ、集団行動での規律やマナーを学ぶことができた」といった声が上がった。中には「2年後に入隊するための参考になった」と話す1年生もあり、充実した体験となったことがうかがえた。

相模原地域事務所は「滝ヶ原駐屯地での『ジョイトレ』は夏の風物詩。今後も部隊の協力を得ながら、隊員との合同練習や生活体験を通じて自衛隊を知る機会を提供していきたい」としている。



光明学園